

令和4年 6月 1日

## 報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議長 清水 唯史  
島田市議会議員 青山 真虎  
島田市議会議員 大村 泰史  
島田市議会議員 桜井 洋子  
島田市議会議員 山本 孝夫  
島田市議会議員 横田川 真人  
島田市議会議員 横山 香理

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和4年5月28日(土)  
午後7時00分～8時35分
- 2 会場 金谷公民館 「みんくる」
- 3 参加者数 19人(男性 14人、女性 5人)
- 4 役割
  - (1) 受付 担当議員
  - (2) 司会 山本
  - (3) 挨拶(概要) 清水
  - (4) 報告 厚生教育常任委員会等 横山  
経済建設常任委員会等 大村  
総務生活常任委員会等 横田川
  - (5) 答弁 担当議員全員
  - (6) 記録 桜井

## 5 報告事項

### (1) 議会の活動の動向の市民への報告について

#### ① 厚生教育分科会・常任委員会

- ・ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業、病児及び病後児保育事業、就労準備支援事業、家庭児童相談室運営事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、国民健康保険事業などの審査状況報告

#### ② 経済建設分科会・常任委員会

- ・がんばる認定農業者支援事業、森林環境整備促進事業、リノベーションまちづくり推進事業、島田市観光協会補助金、狭あい道路拡幅整備事業、島田市都市計画川越し街道周辺地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等の審査状況報告

#### ③ 総務生活分科会・常任委員会

- ・地域公共交通計画策定事業、移住・定住促進事業、デジタル変革推進事業 空港周辺プロジェクト推進事業、ふるさと寄付金推進事業、島田市行政組織条例の一部を改正する条例、請願「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」等についての審査状況報告

#### ④ 報告に対する質疑

- ・ Q 「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業」で「業者が週1回見守りに訪問」とあるが、警備会社は訪問していない。民生委員が訪問している。  
A （訂正は次号の議会だよりで対応する）
- ・ Q 旧金中跡地の件で何か新しい動きはあるのか。  
A 昨年、市民に自由に使ってもらうイベントがあった。今年度は新たに募集を掛けて、使う人を選考していく段階と聞いている。

### (2) 意見及び情報の交換について

#### 今回のテーマ「ごみの減量化」

意見交換を始めるにあたり、配付資料をもとに、清水議員からテーマ設定の理由及び、ごみの排出量、処理量等の実態とごみの減量化について説明をした。

#### 自由な意見交換・質疑

- ・ 7～8人のグループで、紙類や生ゴミをそのまま市のゴミ袋に入れて出さない取組をしている。紙類は米袋に入れてためておき、リサイクルに出す。生ゴミは乾燥させてから出したり、「キエーロ」を使って処理している。行政ももっと市民に減量化をPRすべき。

- ・ 金谷ライフクリエイター（消費者団体）の方より「キエーロ」の有効性についての説明。

～平成 24 年頃から環境課の紹介で始めた。年間 20 人余の方にモニターになってもらい普及に努めている。箱の中で生ゴミが黒土の微生物によって分解。匂いなし、虫もわからない、肥料になる、いいことづくめであり、普及させたい。まちを挙げてやってほしい。議員も広めてほしい。

→市議会としても協力し、市への働きかけやゴミ減量化を進めていく。

「キエーロ」を産業まつりで展示した。もっと市民に有効性を PR していく必要がある。市民農園に設置し肥料として活用することも案であると思う。

福岡県大刀洗町での生ゴミ回収について説明。資源化装置（液体肥料とメタンガスの有効利用実証実験）の取組の情報提供を行った。

・「リサイクルボックス」に集められる資源ゴミの売り上げは、自治会に恩恵がある。市の補助の値段をアップして持ち込みやすいようにしてほしい。有料化を言うより、市としてもっと金銭的な支援をすべきではないか。

・ゴミ袋の有料化の前に、ゴミの減量化で市としてこの 1 年間で、どのくらい減量したいのか（たとえば今キエーロの使用は何台か。何台普及したいか）具体的なもので、できることで提案してほしい。減量化に対して、市はこうしましょうと具体的に出てくるといい。知らないことが多すぎて、市民は市の言うことを聞かされるだけ。具体的に出てくると、市民も協力できる。市民の力を応援して広げてほしい。

→リサイクルボックスのないところは進めてほしい。自治会での取組をお願いしたい。

令和 2 年度の生ゴミ処理機等の購入費助成の実績は、バイオ・乾燥式 12 台、キエーロ 18 台、コンポスト・ぼかし 4 台の合計 34 台である。これまでの普及率については、市に確認していく。普及率を上げることが必要だと考える。

・田代環境プラザでゴミを燃やすときに出る熱の有効利用はどうなっているのか。  
→ゴミ処理で発生した熱エネルギーを利用して発電し、場内で利用している。温水は田代の郷温泉には送っていない。検討したが、冷めてしまうのでできなかったと聞いている。

・市が行うサンプリングの回数を増やし、ゴミの構成内容の把握を進めるべき。

・分別収集を徹底すべき。

### (3) 市等への要望事項

・中山間地の持続的発展を求める要望を出した。応援してほしい。

・家山川の水難事故で安全が確保されるまでの立ち入り禁止、使用禁止措置で再発防止を。

- ・ Q 空き家対策として地域での公的活動団体に安く貸し出す、また空き家を市に提供したら固定資産税の減免措置を受ける、など（広島市の例）空き家の有効活用を。  
A 議会としても空き家対策について調査研究したい。
- ・ Q 道路の痛んだところ（特に 473 号線の歩道の凸凹）の修繕を徹底的にお願いしたい。  
A 道路の補修については、スマホのラインで位置情報、道路情報がすぐやる課に届く。「市民レポート」の活用を。緊急性があれば、迅速に対応してもらえ。
- ・ Q 大代川の浚渫、新堀川の堤防の草刈りも大々的にお願いしたい。  
A 浚渫については毎年県の方に要望している。

## 6 まとめ（所見）

コロナ禍を経て、今回は久しぶりの対面形式での議会報告、意見交換会が実施できた。

ゴミの減量化をテーマにした意見交換では、地域で積極的に取り組んでいる事例が発表された。特に生ゴミ処理器の「キエーロ」の活用が強調された。

有料化の方向に対しても、まず減量化のために、具体的な数値目標を持って取り組む意義が強調された。当局や議会が、市民に対して減量化への積極的な啓発活動を進めるべきとの意見も聞かれた。市民活動を応援してほしいとの意見も出た。

「まず減量化のために〇〇をやってみよう」と市民に分かりやすく何を持って提示するかが課題である。今回、事前に用意した資料は参加者にとって、意見交換の一助として活用できた。